

団体名	福島大学							
事業名	留学生の地域社会ネットワーク構築支援プログラム in ふくしま							
実施期間	平成28年6月8日～12月14日							
場 所	福島大学、福島大学国際交流会館、ホテルハマツ(福島県郡山市)、霞ヶ城公園(福島県二本松市)、せいの果樹園(福島県福島市)、金剛院(福島県福島市)							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	81	0	2	26	0	0	0	109

### <実施内容>

本事業は、普段はほとんど触れあうことのない留学生と地域社会・地域住民が、実施プログラムを通してお互いに関心と理解を深め、信頼関係やネットワークが構築されることで、留学生の「福島」への興味と愛着心の促進、そして地域社会にとっては留学生の魅力の発見を促し、将来、お互い手を取り合って福島の発展に貢献していく関係づくりのきっかけとなるべく、実施しました。

具体的なプログラムとしては、留学生の就職支援を目的とし、現役やOBの留学生を講師に招いた『就職セミナー』を2回(6月と12月)、留学生が就職するにあたっては必須となっている日本語能力試験N-1資格の習得に向けた対策講座を16回(10月～11月)実施しました。そして、留学生及び地元企業の相互理解の促進のため、夏休みを利用して地元企業での『留学生インターンシップ』を開催しました(9月)。さらに、7月に留学生と地元住民との交流を目的として留学生地域交流事業『日本の料理を作ろう』を開催し、11月には、地元の方との交流に加え、福島の自然や文化の理解促進を目的として『二本松菊人形観賞ツアー』(二本松市及び本学地域創造支援センターとの共同事業)、『りんご狩りと日本文化体験ツアー』(国際ソロプチミスト福島との交流事業)を開催しました。

### <記録写真>



「留学生就職セミナー」で講師の説明を真剣に聴く留学生



「りんご狩りと日本文化体験ツアー」で浴衣を着て福島わらじ音頭を踊る留学生



「日本の料理を作ろう」で地域の方に教えてもらいながらおにぎりを作る留学生

### <参加者からのコメント>

ヴォ ティ テュ ハーさん(ベトナム)/Vo Thi Thu Ha

呼斯楞さん(中国)/Husileng

今回の料理教室は私にとって初めての交流経験でした。料理を作るのは私の趣味ですが、もっぱらベトナム料理だけで、日本料理、韓国料理などは今まで作った事がありません。でも、私は特に、おにぎり、おでんをよくコンビニで買って食べているのでこの日を楽しみにしていました。

今回の料理教室によって、おでんやおにぎりの作り方を勉強でき、自分で作る事ができるようになりました。これからは、食べたい時には、自分で食材を買い、友達、家族と一緒に作ろうと思います。そうすれば、お金もかからずに、皆さんと楽しい時間を過ごせると思います。地元の方々の話を聞き、色々勉強になりました。東日本大震災の時の話を聞いて、おにぎりはそんなに大切になることも理解できました。地震が起きてから、やらないといけないことも勉強できました。地元の皆様にお世話になり、誠にありがとうございます。ぜひ、機会があれば、また参加したいと思います。

9月4日、「ホテルハマツ」へインターンシップとして行ってきた。1日目は13時から、ホテルの仕事の体験ということで、宴会の手伝いをした。ドリンクバーでコップの中に氷を入れる、オレンジジュースを入れるなど簡単な仕事だった。宴会のあと、私たちは掃除を手伝った。18時からホテルハマツの担当者と話した。色々なことが初耳だった。

2日目の午前、営業業務の付き添いのついでに、担当者の佐藤さんと風力発電を見に行ってきた。風力発電は想像以上に大きかったので、驚きだった。その周辺にひまわりがあった。また、そこから、磐梯山を見ることができた。ホテルへ戻る時に、とても綺麗な湖を見せてもらった。午後は、結婚式の服を試着した。私は、袴と洋服をきせてもらった。とても素晴らしかった。写真も撮ってもらい、それをいただくことができた。

2日間とても素晴らしい体験ができた。ホテルの中にも、あんな様々な楽しい仕事があるんだとわかった。